

7月18日(月)

ちょっとした振る舞い

聖書朗読 マタイ 10:38~42

わたしの弟子だということで、この小さい者たちのひとりに、水一杯でも飲ませるなら、まことに、あなたがたに告げます。その人は決して報いに漏れることはありません。
マタイ 10:42

ある著名な心理学者があるシンポジウムでプレゼンテーションをした時のことですが、彼女は、何週間もかけて準備した資料をすべてタクシーに置き忘れてしまったため、丁寧に準備した視覚資料を用いずにプレゼンテーションをしなければなりません。その後彼女は事務所へ戻りアシスタントにそのことを話すと、すっかり落胆し泣き始めました。アシスタントは、どうしたら良いかわからずただ彼女を抱きしめ、彼女のお気に入りのお茶を入れ、慰めの言葉を掛けながら彼女の傍らに座り話を聞いてあげたのでした。

この出来事は、ちょっとした思いやりの心の大切さを教えています。あなたが窮地に陥った時あるいは困難な状況にあった時、誰かが慰めてくれたことはありませんか。誰かがあなたの傍らに座り、慰めてくれた時の事を思い出してみてください。どのような状況にあっても、その重荷をともに分かち合える誰かがいるというのは何にも代えられないものではないでしょうか。ただ座って聞いてくれる人がいるだけでも、一人で苦しむよりは良いでしょう。

あなたの周りで困っている誰かに「冷たい一杯の水」を与えられる機会を探してみてください。そうすることでキリストの愛をその人に示すこととなり、あなたのちょっとした振る舞いによって、その人の人生が変えられるかもしれないのです。

讃美歌 403

祈り 親愛なる主よ、私たちが困っているとき、私たちを支えてくれる人たちをお送りくださり感謝します。私たちも同じように誰かを支え、傷ついた人のいのちに光を与える者とさせてください。あなた様の報いと救いの約束を感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ラレンダ・リリース・ロバート

今日のカ

2022年7月18日~7月24日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月19日(火)

目に見える以上のもの

聖書朗読 マタイ 13:24~33

天の御国は、からし種のようなものです。…天の御国は、パン種のようなものです。
マタイ 13:31~33

もし神様がこの世に天の御国への入り口を整えるイベントプランナーを起用したなら、その入り口は間違いなく華々しいもので、軍隊のパレードやバンドの演奏があり、旗がはためいたことでしょう。けれども神様はそのようなイベントプランナーを起用することはしません。神の王国は全く異なる形で備えられています。

神様の統べ治められる王国は、静かに私たちの気付かないうちにやってきます。それは小さすぎて目に見えないほどの小さな種のようなもの、50ポンドもある小麦粉のうちのほんのひとつまみのパン種のようなものです。けれどもそれが生み出すものはどれほど大きなものなのでしょう。

神様が人の心を捉えられると、驚くほどの変化がもたらされます。憎しみは愛に変わり、拒絶は受け入れる心に変えられ、敵同士は和解へと導かれます。神様の平和が行き渡るのです。

マタイ13章のこの二つの比喻は、人の努力によって徐々に成長することを表わすものではありません。そうではなく、イエス様は、私たちの歩みにおいて、予期せずやってくる天の御国を常に意識しているようにと私たちに言うておられるのです。人の目には見えず、人の頭では想像できないものですが、神様の王国はやって来ます。それは何者も押しとどめることはできません。神様が働いておられるからです。待つて、心を注ぎ、備えをして、感動させていただきましょう。

讃美歌 482

祈り 主よ、今日もあなた様の御力で私たちに驚かせ、あなた様の御愛で私たちに包んでください。

私たちの王のお名前によって祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

7月20日(水)

子どもを受け入れる

聖書朗読 マタイ 18:1~5

だれでも、このような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。
マタイ 18:5

イエス様は、弟子たちの「天の御国では、だれが一番偉いのでしょうか。」という問いに対し、小さい子どもを彼らの真ん中に立たせて、「この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です。」と答えられました。

当時子どもたちには社会的地位が与えられておらず、謙遜であることが求められていました。イエス様の時代の子どもたちは、愛らしく、抱きしめたくなるような可愛い赤ちゃんではなく、望まれない、重荷と思われるような存在でした。そして、彼らは常に、飢饉や戦争、病、退去を余儀なくされるような状況にあつて、最初に苦しむ存在でした。イエス様は弟子たちに、子どもたちを中心におき、心を留めるよう強く促されました。

彼らは脆い存在であるがゆえに、今日クリスチャンには子どもたちから大きな使命が与えられています。クリスチャンの家族は、信仰深い生き方を模範として示しながら、子どもたちに神様のみことばを教える責任があります。教会は彼らを指導するうえでパートナーとしての役割を果たします。彼らに聖書クラスを提供するだけでなく、教会のメンバーそれぞれが、例えば、祖父母、叔父、叔母としての役割を果たすなど、具体的に行動することも出来るでしょう。あるいは、これまで知らなかった2、3人の子どもの名前を覚え、日曜日には彼らを迎えて会話の中に入れてあげるといったことも出来るでしょう。こうした姿勢は、子どもたち自身が、教会の家族の大切な一部なのだと思感するのに大いに役立つものです。「このような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。」

讃美歌 466

祈り 私たちの天のお父様、子供たちを与えてくださり感謝します。彼らを教えまたしつける責任を果たすことができるよう助けてください。彼らを、教会の家族の大切な一部として見る事が出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デーブ・ブランド

7月21日(木)

モットー以上に

聖書朗読 マタイ 20:20~28

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

ルカ 19:10

ある病院の駐車場で見かけた消防/救助車のドアにこのようなモットーが書かれていました。「仕え、そして、救う。」イエス様も同じことを言っておられませんでしたか。

イエス様は、理解の鈍い弟子たちに、真に偉大なものは仕える者であり、仕えられるものではないということを苦心して教えておられました。「わたしは、あなたがたのうちにあって給仕する者のようにしています。」(ルカ22:27) このように言われたその夜、イエス様は弟子たちの足を洗いそのことを証明されました。そしてこう言われました。「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。」(ヨハネ13:15)

イエス様は、私たちに仕え、そして、私たちを救うためにやって来られました。

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」(マタイ20:28) イエス様は、仕えてくださる救い主であり、救いを与えてくださる仕えるお方なのです。

あなたのために苦しんだ
あなたを陰府より救うため
深い痛みを受けて
-Frances R. Havergal-

讃美歌 388

祈り お父様、献身と救いの働きに私たちが招いてくださったあなた様の御子のお心を、私たちにも持たせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイヴィッド・ギブソン

7月22日(金)

全世界の主にある家族を愛する

聖書朗読 マタイ 22:34~39

あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。

マタイ 22:39

世界中において、神の家族はより近い存在となり、「隣人を愛する」機会が驚くほど増えています。オンラインを通じて宣教師たちの活動をすぐに知ることができ、スマホでは、世界各地で起きている自然災害の様子をうかがい知ることができ、また、オンラインミーティングでアフリカの村の主にある兄弟姉妹と会話することもできます。

私たちはかつて教会や友人を訪ねてアメリカの各地を旅したことがあります、そこで気付かされたことがあります。それは、多くの人が、自分の「隣人」は、すぐそばにいる人だけでなく、世界中にいる人々なのだと理解していることでした。また、バルキナファソ、キューバ、米国領サモア、ザンビアといった国の人々の生活に関わる人々や教会があることを知りました。米国の事象は世界各地に影響を与えますが、米国もまた、中国、ブラジル、タイなどの各地の出来事による影響を受けています。

私たちは様々な形で互いに関わり合うようになり、かつてないほど「隣人を愛する」という素晴らしい機会が与えられています。宣教師にメッセージを送ってみたり、アジアの兄弟に電話を掛けてみたり、あるいは、隣に住んでいる方を励ますなどして、今日あなたの隣人愛を示してみませんか。

讃美歌 402

祈り お父様、世界中のすべての人を感謝します。主よ、イエス様のいのちによって私たちに与えられた愛を分かち合うことで、新しい愛の示し方を私たちに見出させてください。今日私たちをこの世の光としてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク/ブレンダ・ヤング

7月23日(土)

私の為になされた主

聖書朗読 マタイ 27:27~44

私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

ローマ 5:8

恐ろしい十字架の苦しみが始まりました。イエス様の背中にはローマ人によってひどく鞭打たれ、兵士たちはその着物を脱がせて緋色の上着を着せ、いばらの冠を頭に被らせました。そしてイエス様の前にひざまづき、嘲笑し、つばきをかけ、葦を取り上げてイエス様の頭を叩きました。そして最後に、彼らはイエス様を十字架に掛けたのです。

神の御子をご自身へのこうした仕打ちを、兵士たちのなすがままにさせられたということを想像できますか。天地万物の父はこのような驕り高ぶった者たちに、イエス様を十字架に掛けることを許されたのです。その指一本動かすだけで、彼らを忘却の彼方へ葬り去ってしまうことも出来たにもかかわらずです。

イエス様の苦しみについてあれこれ考えるべきではないと言う人もいますが、イエス様が私たちの為にしてくださったことははっきりと捉える必要があると思います。イエス様が苦しみと屈辱を味わわれただけでなく、罪のないイエス様が私たちの罪を負い代価を支払ってくださったゆえに、私たちは神のみもとにおらせていただけるのです。このことを思うと、私たちもパウロとともにこう叫ぶでしょう。「ことばに表せないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。」(II コリント 9:15)

讃美歌 492

祈り お父様、私たちに代わってイエス様が受けてくださった仕打ち、苦しみ、拒絶、そして屈辱は、どんなに考えても私たちの理解を超えたものであり、その御愛は測り知れません。心より深く感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

リチャード・N・ADY

7月24日(日)

変わった風貌と素晴らしいメッセージ

聖書朗読 マルコ 1:1~8

さばいてはいけません。さばかれたいからです。 マタイ 7:1

ある改まった場にフォーマルな装いではなく古代人のような格好をして現れたカップルがいた時の事を友人が話してくれました。

友人は、このカップルを見た時、彼らがフォーマルな服装がどのようなものか知らないのかと思ったのですが、それは誤解でした。その後、彼らが極めて高い教育を受けた方たちであり、彼らの研究する古代の人々について講義をするために招かれていた主賓であることを知りました。

らくだの毛で織ったものを着て腰に皮の帯を締め、いかにも野蛮な人(バプテスマのヨハネ)を見た時、人々がどのような反応をしたか想像してみてください。さらにその人はいなごや野蜜さえ食べるのです。彼はヨルダン川から上がってきて、聞こうとする者には誰にでも教えを宣べ伝えました。そのメッセージはとても力強く、多くの群衆、ユダの地方のみならずエルサレムの人々さえも彼に引き寄せられました。ヨハネは悔い改めを人々に諭し、ヨルダン川で多くの人にバプテスマを授けていました。ヨハネは何百年も前にイザヤの語った預言が成就するためにやってきましたが、彼は後から来られ彼よりもずっと力あるお方、ナザレのイエスのために備えをしていたのです。

私たちが知らない人を判断するとき、その見た目では判断しないよう気を付けましょう。その人は神様の素晴らしいみ使いかもしれません。

讃美歌 236

祈り 親愛なる主よ。私たちは他者を外見で判断してしまう傾向にあります。どうかそのような私たちをお赦しください。そして、私たちが、彼らもまたあなた様の御子とその為死んでくださった大切な魂をもつ存在であるとして、ひとりひとりを見ることができるようになってください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

H・グレン・ボイド